



水たまりはありませんか蚊？

～蚊のいない環境作り～

デング熱は蚊が媒介する感染症です。

平成26年8月末に約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認され、160名の国内感染症例が確認されました。デング熱を媒介するヒトスジシマカの活動時期は5月中旬～10月下旬ですので、感染症にかからないために今から蚊の対策を行うことが重要です。

【デング熱ってどんな病気？】

デング熱は、デングウイルスをもつ蚊にさされることにより感染します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。

アジア、中南米、アフリカなど、世界の広範な地域で流行しています。

◎症状は

- ・急な発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹が主な症状です。
- ・ヒトが感染しても、発症する頻度は10%～50%です。
- ・潜伏期間は2日から15日といわれており、多くは3日から7日で発症します。
- ・まれに重症化してショック症状を発症することがあります。

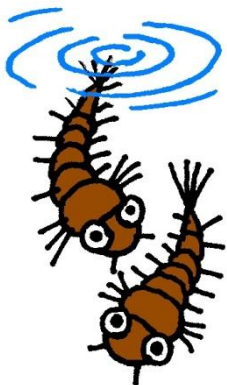


【身の回りで出来ることは？】

感染症を防ぐためにも蚊の駆除は大切です。

殺虫剤を使用した駆除は、一時的に効果はありますが、長続きしないうえ、使い過ぎにも注意が必要です。

殺虫剤を散布して成虫を駆除しても、発生源をなくさない事にはいつまでも蚊に悩まされます。



駆除のポイントは発生源となる不必要な水たまりをなくすことです。

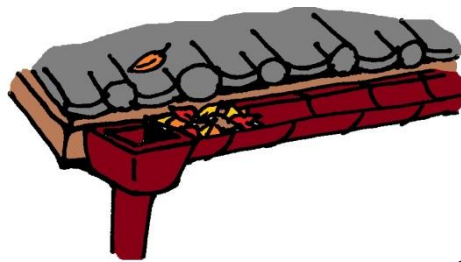
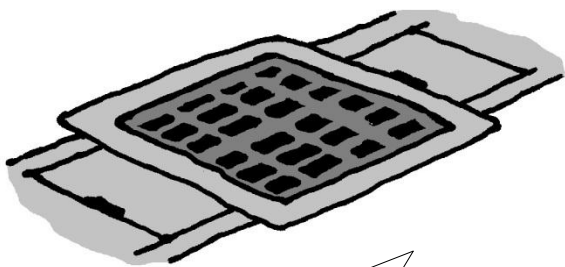
幼虫（ボウフラ）が育つ水たまりをなくすよう、みなさんの家庭で点検をしましょう。

【どんなところを点検すればいいの？】（幼虫対策）



- ・水が溜まるものは雨ざらしにしない

- ・放置しない
- ・水が溜まらないように穴をあける
- ・ビニールシートのたるみをなくす



- ・落ち葉が溜まって、水溜まりにならないように定期的に清掃をする

- ・水受け皿や散水用の汲み水は、1週間おきに捨てるか入れ替える
- ・蓋をする

【さされないためにはどうすればいいの？】（成虫対策）

◎ 潜む場所をなくす

- ・成虫は、草むらや藪に潜みやすいので、定期的な草刈り、樹木の剪定を行い、風通しを良くする。

◎ 侵入防止

- ・網戸、蚊帳の利用。

◎ 吸血させない

- ・蚊の多い場所では肌を露出しない（例）長袖、長ズボン、靴下の着用。
- ・必要に応じて、忌避剤（きひざい）を使用する（使い過ぎに注意）。
- ・室内の蚊の駆除を心がける。

